

世帯と人口

(昭和61年11月1日現在)

世帯 29,850世帯 (+46)  
 人口 95,707人 (+140)  
 男 49,225人 女 46,482

毎月1日・15日発行

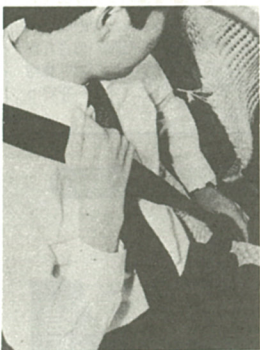
# 広報 えびな

編集・発行  
海老名市役所秘書広報課

〒243-04  
神奈川県海老名市国分155  
☎ (0462) 31・2111



免許証拝見。ゆとりある安全運転があなたの命を守ります



シートベルトは命綱!

道路交通法の一部が改正され、十一月一日からすべ

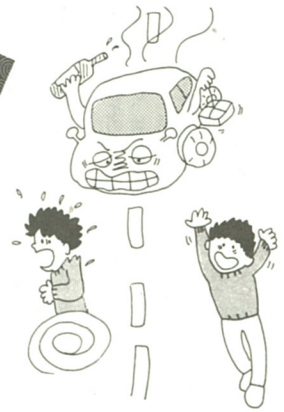
締めてますか  
**シートベルト**

ての道路で運転者と助手席同乗者のシートベルト着用が義務づけられました。これを怠ると、運転者に違反点一点がつきます。

神奈川県警の調べによると、自動車乗車中に交通事故で五十九人が亡くなっています(六十年六月末現在)が、うち五十五人がシートベルトを着用していませんでした。この人たちは、シートベルトを着用していただければ、事故状況から推定して三十八人(六九%)は助かったのではないかとわれています。

シートベルトは、衝突時に乗員を保護する効果があるだけでなく、運転姿勢を正しく保ち運転に集中できるなど、事故の予防効果もあります。後部座席同乗者を含め、乗員全員がシートベルト着用をお忘れなく。

**酔っ払い事故は人命を無視し**



## 交通安全守り

## 明るいお正月を

12/10～1/10年末年始の交通事故防止運動



交通法規の無視、一瞬の油断が悲惨な事故を招く

交通法規の無視、一瞬の油断が悲惨な事故を招く

「酔っ払い事故は人命を無視し」

酒の機会が多いため、つい酔っ払い勢いで、または「酔いがさめたと思ったから」「習いの仕事に車が必要だから」といってのり酒なら大丈夫」といった安易な

交通法規の無視、一瞬の油断が悲惨な事故を招く

「酔っ払い事故は人命を無視し」

酒の機会が多いため、つい酔っ払い勢いで、または「酔いがさめたと思ったから」「習いの仕事に車が必要だから」といってのり酒なら大丈夫」といった安易な



が酒をすめたりすると、処罰を受けることもあります。

家庭・地域ぐるみで飲酒運転を「しない」「させない」「許さない」の三ない運動を徹底するよう心がけてください。

### 家族のためにも

### 飲んだら乗らない

「酔っ払い事故は人命を無視し」

酒の機会が多いため、つい酔っ払い勢いで、または「酔いがさめたと思ったから」「習いの仕事に車が必要だから」といってのり酒なら大丈夫」といった安易な

意識で車を運転し、事故を起こすが毎年後を絶ちません。

こうした事故による悲劇は被害者だけでなく、加害者本人や家族などにも及びます。職を失い、家族を経済的苦況に追い込み、さらには多額の損害賠償に悩む結果になります。

また、たとえ事故を起こさなくても酒酔い運転・酒気帯び運転は懲役、または罰金刑が課せられますし、相手が車を運転することを知らな





# 年末年始特別警戒

12月1日～1月10日

いよいよ年の瀬、今年も残り少なくなり、この時期は何かと気ぜわしくなり、ともしば、犯罪や事故に対する警戒心が薄れがちになります。一方、お金の必要性に迫られ、ひったくりなどの犯罪が多くなっています。

## 防犯ブザーの活用も

### 隣りと留守明けの新年迎えよう

◇泥棒や悪質セールスマンに「用心」  
年末年始は、外出の機会も多くなりますが、外出の際は、たとえ短時間でも、必ずカギをかける習慣をつけ、お隣りと留守の頼み合いをしましょう。  
また、正月用品などの押し売りや、いわゆる悪徳商法のセールスマンが家庭を訪れます。うまい話には気をつけましょう。  
◇スリやひったくりに「用心」  
○買物かごなどに財布を入れ、お財布は外から見えぬようにして持ちましょう。  
○ハンドバッグなどは、無造作に手にかけたり、肩に掛けないようにしましょう。  
○大金と小銭は別にし、大金



は肌身に付けましょう。  
○込み合う乗り物は、乗降口付近が最も危険です。わざと押してこける人、押されたふりをさせてこける人には注意しましょう。  
○大金を持ち歩くときは、車を利用するか、二人以上で行きましょう。  
○人通りの少ない道、街灯のない暗い夜道は避けましょう。  
○犯人のほとんどは、後ろから近づいて、すれ違いざまにひったくりをします。不審な人やオートバイ、自転車などが近づいてきたときは注意しましょう。  
○セキンドバッグなどは、車道と反対側の手の届かないところに、かつひざの高さに持ちましょう。

## 消えゆく初冬の風物詩

### イチゴの電照栽培



○「海老名の特産品」もなっているイチゴの電照栽培が始まった。電照栽培は、大型ハウスの温室に、電灯を昼間前後つけて夜間の時間を短くし、春先の状況を人工的に作り出すことによって、促成栽培や生産性を高める方法で、イチゴの種類は、電照栽培にも適した宝交早生（ほつぷうせ）  
○市内中河内の農家で初めて導入してから広く普及している。写真は中河内の大谷清さんの電照栽培風景。

## 風物詩

とともされる電灯に浮かび上がる温室群は、有馬耕地初冬の風物詩として、土地の人たちにも親しまれてきた。  
○しかし、今年から至交早生に代わって、電照栽培を必要としない女峰（にょほう）イチゴが導入され始めたため、電照栽培の農家は半分近くに減ってきており、この有馬耕地の風物詩は、あと二、三年で見られなくなるかも知れないという。

○市内のイチゴ栽培農家は約八十軒。昨年の出荷額は二億四千万円と米の出荷額一億九千万円をはるかに上回っている。写真は中河内の大谷清さんの電照栽培風景。

## 「海老名むかしばなし」第3集発行

市では「海老名むかしばなし」第三集（A5判、上製本）を有馬町公民館で販売している。価格は、海老名市消費生活モニター30名の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。（）内は前年同月比で△印は、安。

## 11月の価格情報

品目	単位	大型店		中小店	
		平均価格	最安価格	平均価格	最安価格
しょう油	パック1L	253(14)	258	269(0)	258
みそ	袋入1kg	332(19)	358	320(▲13)	358
砂糖	白1kg	238(▲38)	268	270(▲1)	250
マーガリン	パック225g	177(▲34)	158	189(▲25)	188
サラダ油	ポリ700g	325(▲49)	368	323(▲57)	368
マヨネーズ	ポリ500g	310(4)	338	350(▲5)	335
小麦粉	薄力粉1kg	210(9)	203	217(1)	208
牛乳	パック1L	200(6)	188	204(▲8)	220
鶏卵	M10個入	233(▲12)	218	227(▲11)	230
豚肉	もも肉100g	156(7)	188	152(▲2)	150
無リン合成洗剤	箱入2.65kg	910(0)	910	895(▲20)	910
粉石鹼	袋入3kg	900(50)	910	938(68)	
灯油	配達18ℓ			872(▲468)	850

## 12月の青空市



第9日曜日を除く毎週日曜日朝7時から、市役所駐車場。今月の主な出品は、ホウレン草、長ネギ、サツマイモ、サトイモ、キャベツ、人参、レタス、カリフラワー、白菜、鶏卵、鉢物など、季節物がありますので出品物に多少の変更もあります。問い合わせは農産係（内別）  
**サービスデーは14日**  
サービスデーは14日、当日はリンゴの無料配布があります。

## 公民館だより

### 山田洋次氏語る

昭和62年1月16日(金)

市制15周年記念市民講演会

昭和六十一年一月十六日(金)午後一時～三時、市文化会館大ホール。  
講師は映画監督の山田洋次氏。演題は「寅さんと今日」対象は市内在住、在勤千五百人。申

申し込みは往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・人数(一枚のハガキで二人まで)を記入し、海老名市上郷四七六〇二、市立中央公民館(☎32・3233)へ。十二月二十四日必着。申し込み多数の場合は抽選。結果は返信ハガキで。入場無料。  
また、講演会終了後「講演会らしいよ」口笛をふく寅次郎」を上映。



### 山田洋次氏経歴

昭和六年九月十三日生まれ。同二十九年東京大学法学部卒業、松竹大船塲所入社。同四十二年ブルリボン監督賞受賞。以後芸術選奨文部大臣賞など殊々

### 公民館講座など

昭和三十二年三月の公民館講座と市民教養大学講座を下表のとおり開催します。魅力ある内容を皆さんの応募をお待ちしています。  
申し込みは往復ハガキに希望科目、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して市立中央公民館まで。定員を超えた場合は抽選。結果はハガキで連絡します。受講料無料(教材費のみ自己負担)。締め切りは十二月二十四日(必着)。  
問い合わせは市立中央公民館(上郷四七六〇二、☎32・3233)。

### (Ⅲ期)公民館講座・市民教養大学講座 募集

講座名	科目	内容	期間	曜日	回数	時間	会場	講師	定員
公民館講座	料理	健康と食事について(成人病を防ぐために)	1/28 3/25 (3/29月曜日)	水	7	10:00 13:00	中央公民館	栄養士 茂木万寿子	32人
	体操	健康維持のためにさわやかな汗をかこう	1/22 3/12	木	8	13:30 15:00	総合福祉会館	NHK TV体操アシスタント 前田 明美	35人
	詩歌	親しまれている翻訳詩と世界の愛の詩人たちを学ぶ	1/23 3/13	金	8	14:00 15:30	中央公民館	詩人 光山樹太郎	40人
	手芸	和紙人形を作る(基礎からの実習)	1/19 3/20	金	10	13:00 15:00	"	結城和紙人形講師 中山 英子 治子 相良	30人
市民教養大学講座	文学	郷土の文学(古事記・曾我物語)について学ぶ	1/12 3/16	月	10	10:00 12:00	"	文芸評論家 涌田 佑	50人

## 今月のアワード

「県予選で私が勝った瞬間、相手の人が泣き始めました。もし私が負っていたら、やっぱり泣いていたと思います」  
と、勝負の厳しさを話すのは大谷小学校四年生の河野文江さん(9)。

## 卓球が一番好き!

大会に、県代表の一人として出場した。河野さんの卓球歴は一年三か月。市卓球協会に所属しているお母さんの勧めもあって、小、中学生の卓球チーム「リトル・キングス(笹田暁子代表、会員八人)」に去年八月、入会した。入会当初から卓球のおもしろさに魅かされた。同じチームの笹田正文さんの卓球を見て、河野さんには指導力、河野さんには期間で実力を発揮する

よくなった。「この子は以前、水泳をやっていたので体ができていて、サウスポーであることといった好条件に加え、中学生をしのぐ力のあるサーブが大きな戦力になっています」

と、笹田コーチ。現在、河野さんはチーム内の特別組。一員として、毎日三時間以上の練習を行い、精神鍛錬を兼ねた六時起床の早朝マラソンも続けている。マラソンのため早起きしたり、コーチにしかたたりやると、「ちょっとびり卓球をやめたい」と思うこともある河野さんだが、「チームの仲間も頑張っているし、自分も頑張りたい」と、お母さん

張って練習しているし、試合に勝ったときは本当にうれしいうので、卓球はやめられませぬ」  
練習は午後七時半まで行われることもあり、その後、学校の予習、復習に頑張る。「以前は甘い坊主でしたが、卓球を始めてから少し甘えがとれたよ」と、お母さん。

「走れ!ロス」(天宮治原作・長編カラーアニメーション)ほかを上映します。  
十二月二十一日(日)午前十一時正午、市立総合福祉会館。定員百五十人、同日午後一時半三時半、県立海老名青年会館。定員百人。入場無料。幼児の場合は父兄同伴。申し込みは電話または直接、市立中央公民館(☎32・3233)か青少年会館(☎31・9787)へ。先着順に受け付けます。



## 子供名画劇場

## 図書館から

### 冬休み映画会

12月25日(木)午前10時～11時と午後2時～3時、内容は動物民話「田舎ネズミと都会ネズミ」、クリスマス「ミッキー・マウスとゆかいな仲間」ほか。いずれも幼児・低学年向きです。対象は親子80人(先着順) 12月26日(金)午後2時～3時15分。内容は児童劇「コロポックルのすてきなおりもの」ほか。対象は小学生80人(先着順) 会場はいずれも市立図書館視聴覚室。

### 冬のおはなし会

12月19日(金)午後3時～4時、市立図書館視聴覚室。内容は「しっぺい太郎」「三びきのこぶた」ほか。対象は小学生50人、一般20人。



申し込みは12月9日から直接または電話で市立図書館へ(☎31・5152)

## 杏里コンサート



昭和62年3月25日(水)午後6時半開演、市文化会館(☎32・3231) 入場料は全席2500円(全席指定) 前売開始は12月7日(日)午前9時から、電話予約は午後1時から。  
主催は海老名市・市文化会館事業協会  
〈お問い合わせ〉11月1日号でお知らせした「杏里コンサート」の日程が変更になりましたのでお詫言します。

# フォトピックス

## 大空へ羽ばたけ

2羽の野バトが元気に成長  
望地の井上弘一さん(右)宅の庭にあるキャラの木の野バトが巣を作り、二羽のヒナ鳥が元気に育った。



キャラの木の上で元気に育ったヒナ

この巣は軒先から二ほど離れておらず、高さも二メートル程度。一ツく手の届くところなので毎朝ヒナにお早ようご声をかけていました」と、井上さん。人間を信用したハトの期待を裏切らないようにと、井上さんは毎日ヒナ鳥を見守っていたが、そのかいあって、羽は元気に成長し、このほど大空へ羽ばたいていった。

## 技はプロ並み

マジックフェスティバル  
十一月八日、厚木文化会館小ホールで、海老名・厚木・伊勢原・愛川の三市一町合同のマジックフェスティバルが開かれた。このフェスティバルは、去年から実施しているもので今年日頃の練習成果がパッチリ！



で二回目、日頃の練習成果の発表と同時に、恵まれた人も招待してマジックを楽しんでもらっている。今年は、市内では「わかば作業所十人が招待された。海老名マジッククラブ(平海照久会長、会員20人)は、マジック劇を上演。この日のために

## 自信の出来ばえ

ふすま張りかえ講習会  
高齢者のための「ふすま張りかえ講習会」が十一月十三日、市総合福祉会館で開かれた。この講習会は今年で三回目。市社会福祉協議会高齢者職業紹介所が、高齢者の生きがい対策と同時に、近隣からのたのまれものに対応できる技術を持ってほしいと企画した。



講習会は一日かけて行われ、最初は高橋さんの実演を見学。専門的な質問が飛び出すほどの熱心さであった。午後から四班に分かれて、ふすまの張りかえに挑戦。ふすまを手にする受講者の目は真剣そのもので、出来あがりには「自信の持てる出来ばえです。これからは自宅のものも自分でやります」と。

## 見て、食べて楽しんだ

第10回産業まつり

北村真知子



牛や豚、ヒヨコもお目見えし、子供たちとふれあった

## むかしはなし

### 歌人僧河野覚一師

### 第150話

### 新年雪

### 自信の出来ばえ

### 海老名むかしむかし

### レポート

### もちつきコーナーには長蛇の列が

河野覚一師は、明治三十三年から三十九年ごろまでの間、現在の相模国分寺の住職を務められた歌人僧である。  
現在何枚が残っている短冊の一枚の真書に「淡路国三原郡倭文之荘、河野家之産」とある。生家は兵庫県三原郡倭町倭文(現在はしとおりと読む)土井一〇九七番地、淡路島もやや南寄りのほぼ中央、山の中の一軒家で、今でも土井には河野姓は二戸のみだそうだから字名を省略し、家名だけを記されたものとみえる。

この費用が僅かに十八圓九十銭六厘という記録が残されている。歌道の修業過程はわからないが、入山後の翌三月には早くも相模川(河)を渡り、早川にまたたき流す橋かけり。またそれ迄の橋かけり。期作と思われるものに「我が庵は相模川辺ひがしかた

いなかには富士の山も見えりがある。故郷淡路島では見られぬ大河や富士に心を馳せられたのか、そうした作品が散見されたが、こうした資望の色はまた残っていたらうし、檀家も二十戸足らずのことなので、そ

富を助けし汝が為にむくゆ心の数多ほしけれ「報四恩経の心に依り世の心を引くまでによめる」とし、身を捨つる虫にも恥お国の為

富を助けし汝が為にむくゆ心の数多ほしけれ「報四恩経の心に依り世の心を引くまでによめる」とし、身を捨つる虫にも恥お国の為

教訓めいた歌が多い中に、これはすっきりした自然語である。師は独身者であつたらしく時折、世話人の家へもいらし風呂に行き、ときには一飯のもてなしも受けられたという。また村内の風流人との交遊も深かつた模様で、そうした家々に師の遺墨が保存されているのである。(池田 武治)

十一月九日、曇り空のなか、第十回産業まつりが開催されました。当日は、午前十時前には巨くも市内のあちこちか会場の市役所へと出かける人達が見られ、開会の合図の花火が上がると、にはもうかなりの人出になつていました。



もちつきコーナーには長蛇の列が

迎えられたかは一切不明であるが、淡路国の国分寺もさして遠くない隣町にあるので、何等かのつながりがあったのかもしれない。

現国分寺は正徳三年(西暦一七三三)時の住僧義智師によつて本堂が再興され、薬師堂、経藏、鐘樓、庫裡、山門などが整

富士の根に掛けし雪は大君の歳のはじめを祝ふなるべし  
新年雪  
御空には鶴の声々のどかにて  
歳あしたの年のしづかさ  
新玉の歳や渡りて行きつらん  
のどかに見ゆる沖の島にも  
雪中竹

白雪の固まりてこそなみ竹のみさを色は現はれにけれ「報四恩経の心に依り世の心を引くまでによめる」とし、身を捨つる虫にも恥お国の為

富を助けし汝が為にむくゆ心の数多ほしけれ「報四恩経の心に依り世の心を引くまでによめる」とし、身を捨つる虫にも恥お国の為

講習会は一日かけて行われ、最初は高橋さんの実演を見学。専門的な質問が飛び出すほどの熱心さであった。午後から四班に分かれて、ふすまの張りかえに挑戦。ふすまを手にする受講者の目は真剣そのもので、出来あがりには「自信の持てる出来ばえです。これからは自宅のものも自分でやります」と。

当日は、午前十時前には巨くも市内のあちこちか会場の市役所へと出かける人達が見られ、開会の合図の花火が上がると、にはもうかなりの人出になつていました。

そうでした。工業製品展示場は日ごろあまり見えない市内の工業を身近に見る良い機会でしたが、農産物に比べると少し

みしい気もしました。買物をして、アトラクションを見て、あれこれ食べて、産業まつりは子供から大人まで楽しめる興味ある催しなので来年がまた楽しみです。九日の夜はたくさん買った野菜と豚肉で、にぎやかな食卓を囲み、楽しかった秋の夜が更けました。

**海老名むかしむかし**  
☎333・3838  
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
12月1日-12月14日 第37話 上郷の虫送り  
12月15日-12月28日 第38話 第1回高座郡連合青年団陸上競技大会

**海老名むかしむかし**  
☎333・3838  
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
12月1日-12月14日 第37話 上郷の虫送り  
12月15日-12月28日 第38話 第1回高座郡連合青年団陸上競技大会